

「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の
在り方に関する検討会」(第2回・参考資料)
パフォーマンス評価とは何か

平成25年1月21日
京都大学大学院教育学研究科・西岡加名恵

0. 中学校社会科の授業の様子(その1)



(三藤あさみ先生提供。三藤あさみ・西岡加名恵『パフォーマンス評価にどう取り組むか
——中学校社会科のカリキュラムと授業づくり』日本標準、2010年参照)

2

0. 中学校社会科の授業の様子(その2)



(三藤あさみ先生提供。三藤あさみ・西岡加名恵『パフォーマンス評価にどう取り組むか
——中学校社会科のカリキュラムと授業づくり』日本標準、2010年参照)

3

1. パフォーマンス評価とは何か

(1) 定義

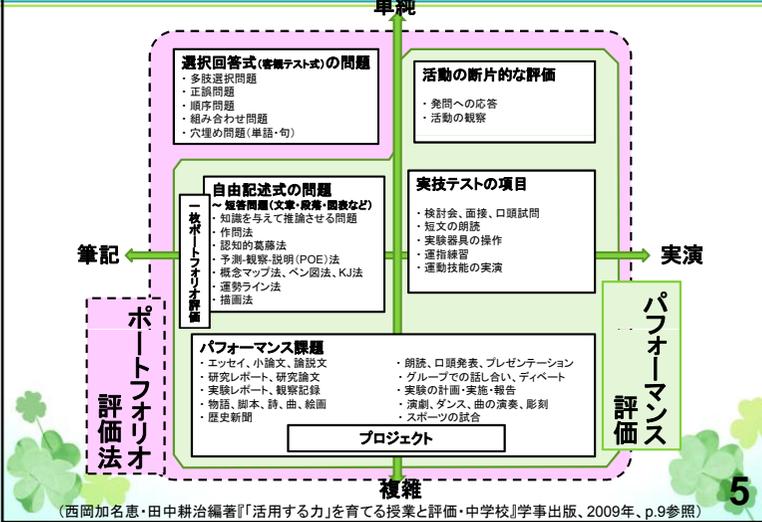
- 知識やスキルを使いこなす(活用する)ことを求めるような評価方法(問題や課題)

(2) パフォーマンス課題とは・・・

- 様々な知識やスキルを総合して使いこなす(活用する)ことを求めるような、複雑な課題。
- 具体的には、論説文やレポート、展示物といった完成作品(プロダクト)や、スピーチやプレゼンテーション、実験の実施といった実演(狭義のパフォーマンス)を評価する課題。

4

(3) 様々な学力評価の方法



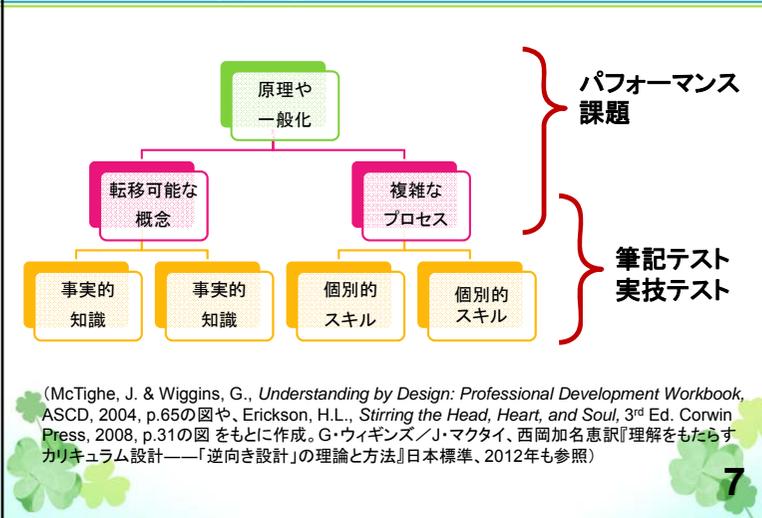
(4) 登場の背景

- 1980年代末から1990年代にかけてのアメリカ合衆国
- 客観テストによって、学校の説明責任を求める政策への批判
- 学力観の転換
- 「真正の評価(authentic assessment)」論**
 - 現実世界において人が知識や能力を試される状況を模写したりシミュレーションしたりしつつ評価することを主張するもの

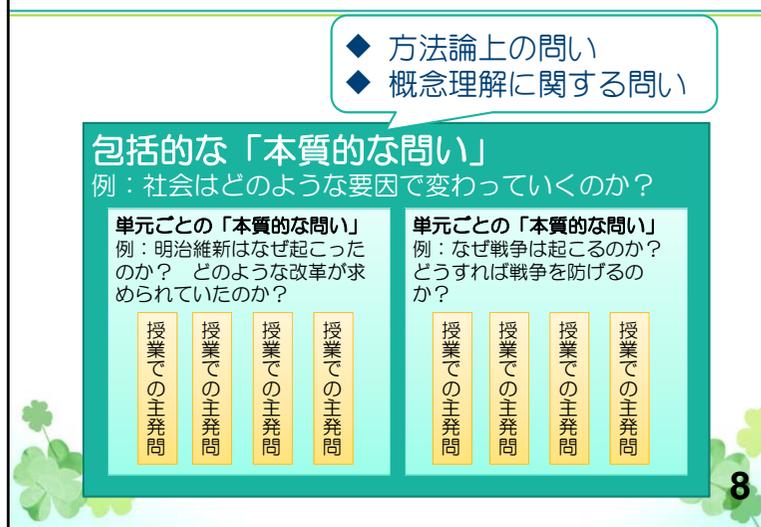


「固液混合物」を純粋な物質に分け、性質を明らかにする実験を、計画・実施・報告しなさい。
 (Wiggins, G., *Performance Assessment in Action*, ReLearning by Design, 2000)

(5) 「知の構造」と評価方法の対応



(6) 「問い」の入れ子構造



2. ルーブリックを作る

(1) ルーブリックとは何か (ここではレベル2・4を省略)

レベル	記述語	特徴
5	素晴らしい	社会的な事象について、政治・経済・文化などの構成要素から3つ以上の視点から分析し、最適で詳細かつ具体的な根拠をあげて、非常に説得力のある主張を組み立てることができる。
3	良い	社会的な事象について、政治・経済・文化などの構成要素から2つ以上の視点から分析し、最適で詳細かつ具体的な根拠をあげて、明確な主張を述べることができる。
1	かなり改善が必要	社会的な事象について、政治・経済・文化などの構成要素から1つ以上の視点から分析し、最適で詳細かつ具体的な根拠をあげて、明確な主張を述べることができる。

観点
(分けなくても可)

記述語
(規準と徴候)

尺度
(数レベル程度)

アンカー作品
を添付

9

(2) テンプレート

◆全体的ルーブリック
または観点別ルーブリック

レベル	作品NO	記述語
5		
4		
3		
2		
1		

まず、作品NOの配置
を確定する。
→アンカー作品

チェックリストとの違い
に留意する。

10

(3) ルーブリック作りの手順

①お互いの採点がわからないように、
作品を採点する。



11

②似た評点がついた作品を集め、特徴
について話し合う。

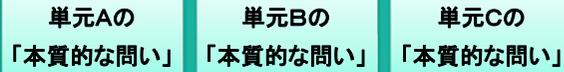


12

❁(4) 長期的ルーブリック

「本質的な問い」の入れ子構造

包括的な「本質的な問い」



類似の
パフォーマンス課題



単元を超えた成長を捉える

❁ 3. ポートフォリオ評価法

(1) 定義

- ポートフォリオ：学習者（児童・生徒や学生）の作品や自己評価の記録、教師の指導と評価の記録などを系統的に蓄積していくもの
- ポートフォリオ評価法：ポートフォリオ作りを通して、学習者が自らの学習のあり方について自己評価することを促すとともに、教師も学習者の学習活動と自らの教育活動を評価するアプローチ
- パフォーマンス評価の一種

❁(2) ポートフォリオの例(小学校)



(宮本浩子先生提供。宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年も参照)

❁(3) ポートフォリオの例 (小学校；「総合的な学習の時間」)



(宮本浩子先生提供。宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年も参照)

❁(4)指導上のポイント

- ① 子どもと教師で見通しを共有する。
 - なぜ、作るのか？ 意義は何か？
 - 何を残すのか？
 - いつ、どの期間で作るのか？
 - どう活用するのか？
- ② 蓄積された作品を、編集する(整理・取捨選択する)。
 - ワーキング・ポートフォリオからパーマネント・ポートフォリオへ必要な作品を移す。
 - 検討会で見せる作品を選ぶ。
 - 目次を作り、「はじめに」と「終わりに」を書く。
- ③ 定期的にポートフォリオ検討会を行う。
 - 見通しを持つ。
 - 到達点と課題、次の目標を確認する。
 - 成果を披露する。

17

❁(5)ワーキング・ポートフォリオから パーマネント・ポートフォリオへ



(宮本浩子先生提供。宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年参照)

18

❁(6)ポートフォリオ検討会



(宮本浩子先生提供。宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年参照)

19

❁<主要参考文献>

- ① 西岡加名恵『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』図書文化、2003年
- ② 西岡加名恵編著『「逆向き設計」で確かな学力を保障する』明治図書、2008年
～小学校4教科、中学校5教科の実践など。
- ③ 西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価・中学校』学事出版、2009年
～中学校の全教科の実践、長期的ルーブリックなど。
- ④ 田中耕治編著『パフォーマンス評価——思考力・判断力・表現力を育む授業づくり』ぎょうせい、2011年
- ⑤ G・ウィギンズ／J・マクタイ(西岡加名恵訳)『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年
- ⑥ 西岡加名恵・石井英真ほか『教職実践演習ワークブック——ポートフォリオで教師力アップ』ミネルヴァ書房、近刊

20